

工事設計図書

年 度	令和 4 年 度 実 施 設 計 書 (金 抜 き 設 計 書)					
設 計 月 日	令 和 4 年 11 月 設 計					
起 工 理 由						
位 置	明石市鳥羽地内			施 行	直 営 請負	
事 業 名	土地改良施設維持管理適正化事業			期 間	契約の日より 日 以内	
工 事 名	黒星池転落防止柵更新工事(その2)				令和5年3月10日 限り	
工 事 の 概 要	木柵撤去 L=60m 転落防止柵設置 L=60m					
工 事 費	当初設計額	円	当初請負額	円	摘 要	前金払 無し 中間前金払 無し 部分払 1回以内
	変更設計額		変更請負額			
	増・減		増・減			

令和4年度 土地改良施設維持管理適正化事業

黒星池転落防止柵更新工事（その2）

仕 様 書

- 1 契約数量表
- 2 数量計算書
- 3 単位数量計算書
- 4 特記仕様書

契約数量表

工事区分		細 別	規 格	数 量	単 位	備 考
工種	種別		形 状 寸 法			
土工						
土工				1	式	
作業土工		埋戻 支柱基礎改修工	洗砂・人力	1	m3	単位数量計算書3、4より
転落防止柵撤去工						
既設転落防止柵撤去工				1	式	
撤去工		木柵撤去 既設転落防止柵	木材(支柱・横ビーム・縦格子)・人力	60	m	
		コンクリート構造物取壊し 支柱基礎撤去工	無筋コンクリート・人力	1.9	m3	
運搬・処分		木材運搬・処分	支柱・横ビーム・縦格子	3.3	m3	
		コンクリート運搬・処分	無筋コンクリート	1.9	m3	
転落防止柵設置工						
転落防止柵設置工				1	式	
支柱基礎改修工		箱抜き	ボイドφ125	9.9	m	
		コンクリート	18-12-20BB	1.0	m3	単位数量計算書3、4より
転落防止柵設置工		転落防止柵設置	コンクリートブロック建込、H1100×L3000	60	m	
仮設工						
交通管理工				1	式	
交通誘導員		交通誘導員		4	人	

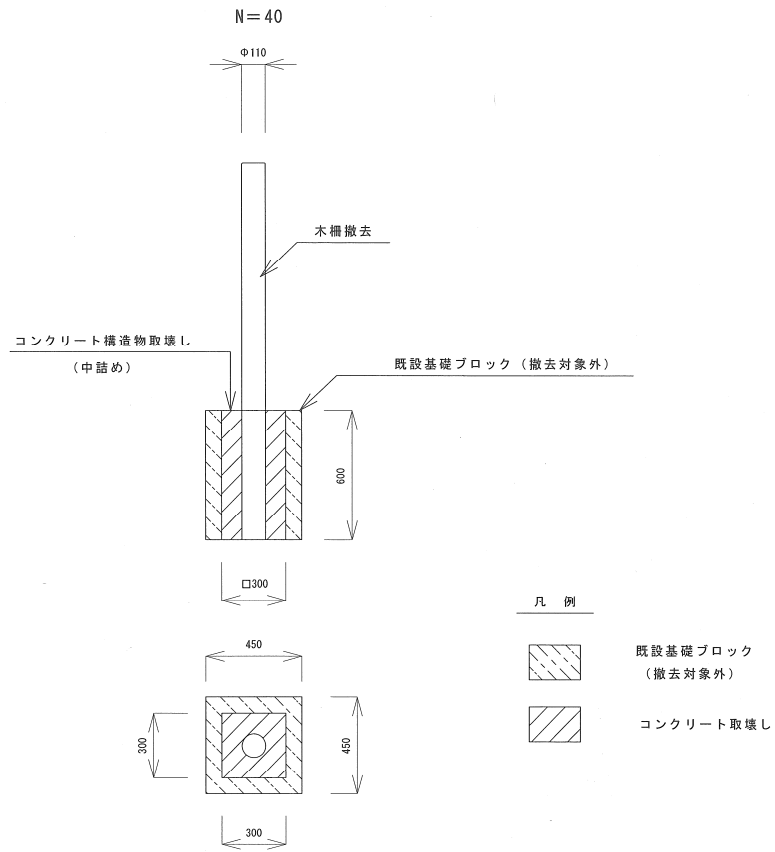
数量計算書

工事区分		細 別	算 式	小 計	数 量	単 位	備 考
工種	種別						
種別							
土工							
	土工				1	式	
	作業土工	埋戻 支柱基礎改修工	0.3+0.8	1.1	1	m ³	単位数量計算書3、4より
転落防止柵撤去工							
	既設転落防止柵撤去工				1	式	
	撤去工	木柵撤去 既設転落防止柵	平面図より	59.7	60	m	
		コンクリート構造物取壊し 支柱基礎撤去工	単位数量計算書1より	1.9	1.9	m ³	
	運搬・処分	木材運搬・処分		3.3	3.3	m ³	
		コン殻運搬・処分	単位数量計算書1より	1.9	1.9	m ³	
転落防止柵設置工							
	転落防止柵設置工				1	式	
	支柱基礎改修工	箱抜き		9.9	9.9	m	
		コンクリート	0.8+0.2	1.0	1.0	m ³	単位数量計算書3、4より
	転落防止柵設置工	転落防止柵設置	平面図より	59.7	60	m	
仮設工							
	交通管理工				1	式	
	交通誘導員	交通誘導員	4.0	4.0	4	人	

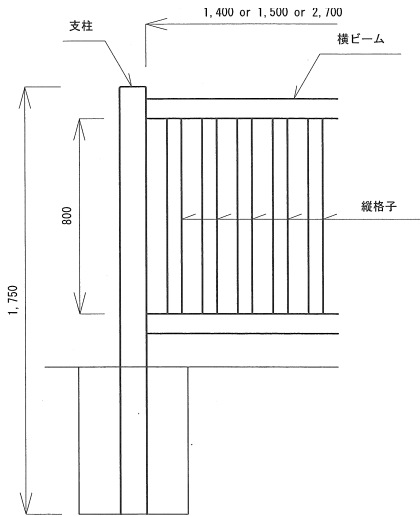
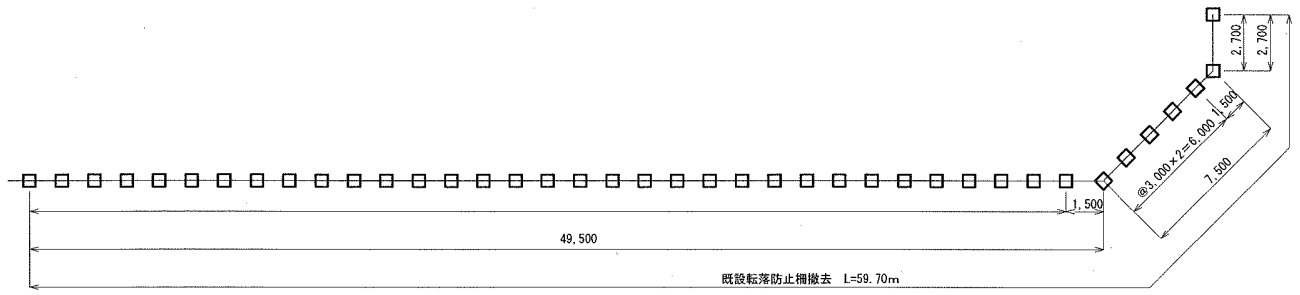
支柱基礎撤去工（基礎450タイプ）

単位数計算書1

1式当り

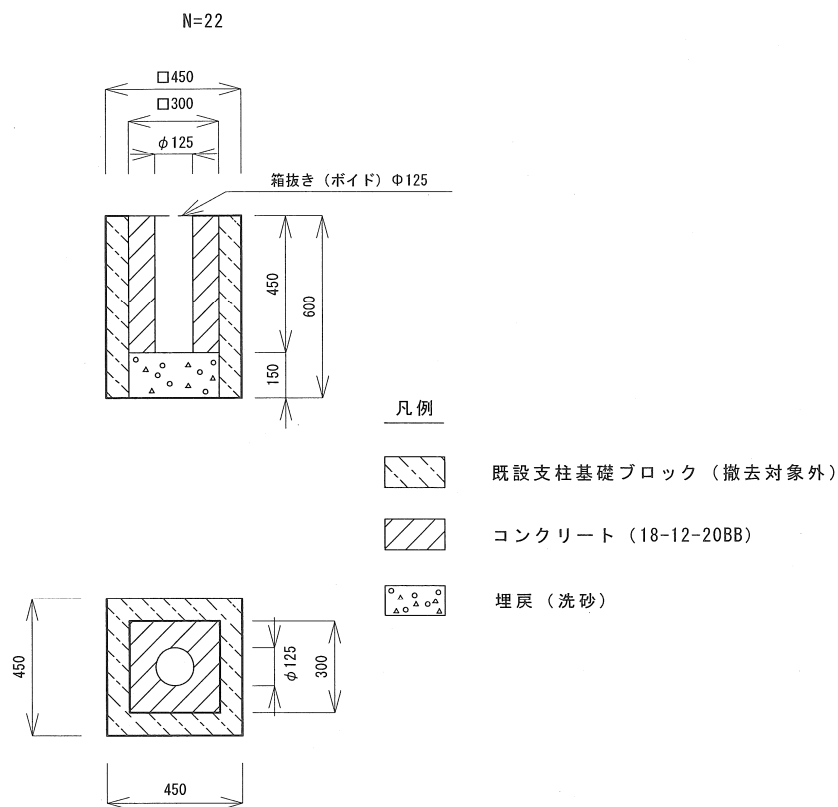


名称	計 算 式	単 位	数 量
コンクリート構造物取壊し			
V	$0.30 \times 0.30 \times 0.60 \times 40$	= 2.16 m3	2.16
控 除 V'	$0.11 \times 0.11 \times \pi / 4 \times 0.6 \times 40$	= 0.23 m3	0.23
V-V'	$2.16 - 0.23$	= 1.93 m3	1.9

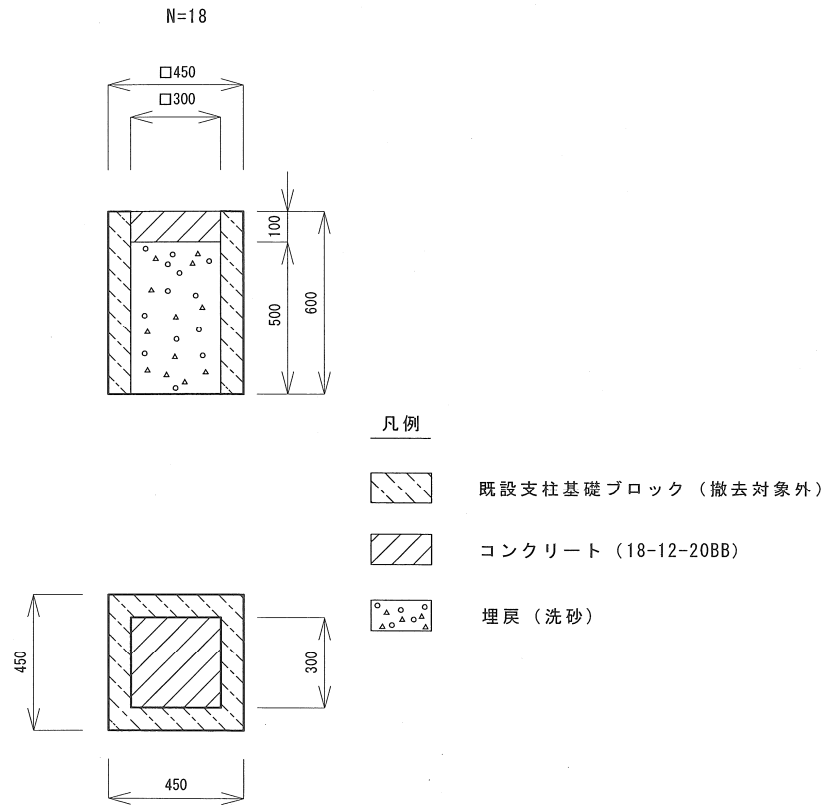


項目	径 (mm)	長さ (mm)	本数 (1箇所あたり)	箇所数
支柱	110	1,750	1	40
	80	1,400	2	36
		1,500	2	2
横ビーム	80	2,700	2	1
	60	800	9	36
		60	800	10
縦格子	60	800	19	1

名称	計算式	単位	数量
支柱 φ110 V1	$\pi \times (0.11/2)^2 \times 1.75 \times 1 \times 40 = 0.67$	m ³	0.67
横ビーム V2	$\pi \times (0.08/2)^2 \times 1.40 \times 2 \times 36 + \pi \times (0.08/2)^2 \times 1.50 \times 2 \times 2 + \pi \times (0.08/2)^2 \times 2.70 \times 2 \times 1 = 0.56$	m ³	0.56
縦格子 V3	$\pi \times (0.06/2)^2 \times 0.80 \times 9 \times 36 + \pi \times (0.06/2)^2 \times 0.80 \times 10 \times 2 + \pi \times (0.06/2)^2 \times 0.80 \times 19 \times 1 = 0.82$	m ³	0.82
合計 V=V1+V2+V3	$0.67+0.56+0.82 = 2.05$	m ³	2.1
	※ここで、木材の単位体積重量を0.8t/m ³ 、空隙を含む見かけの比重を0.5t/m ³ として、空隙を含む見かけの体積を算出する。 $2.05 \times 0.8 / 0.5 = 3.28$	m ³	3.3



名 称	計 算 式	単 位	数 量
埋戻(洗砂) V1	$0.30 \times 0.30 \times 0.15 \times 22 = 0.30$	m ³	0.3
箱抜き(ボイド φ125) L	$0.45 \times 22 = 9.90$	m	9.9
コンクリート (18-12-20BB) V2	$0.30 \times 0.30 \times 0.45 \times 22 = 0.89$	m ³	0.89
控 除 V2'	$0.125 \times 0.125 \times \pi / 4 \times 0.45 \times 22 = 0.12$	m ³	0.12
V2-V2'	$0.89 - 0.12 = 0.77$	m ³	0.8



名 称	計 算 式	単 位	数 量
埋戻(洗砂) V1	$0.30 \times 0.30 \times 0.5 \times 18 = 0.81$	m3	0.8
コンクリート（18-12-20BB） V2	$0.30 \times 0.30 \times 0.10 \times 18 = 0.16$	m3	0.2

特記仕様書

工事名：黒星池転落防止柵更新工事（その2）

工事場所：明石市鳥羽地内

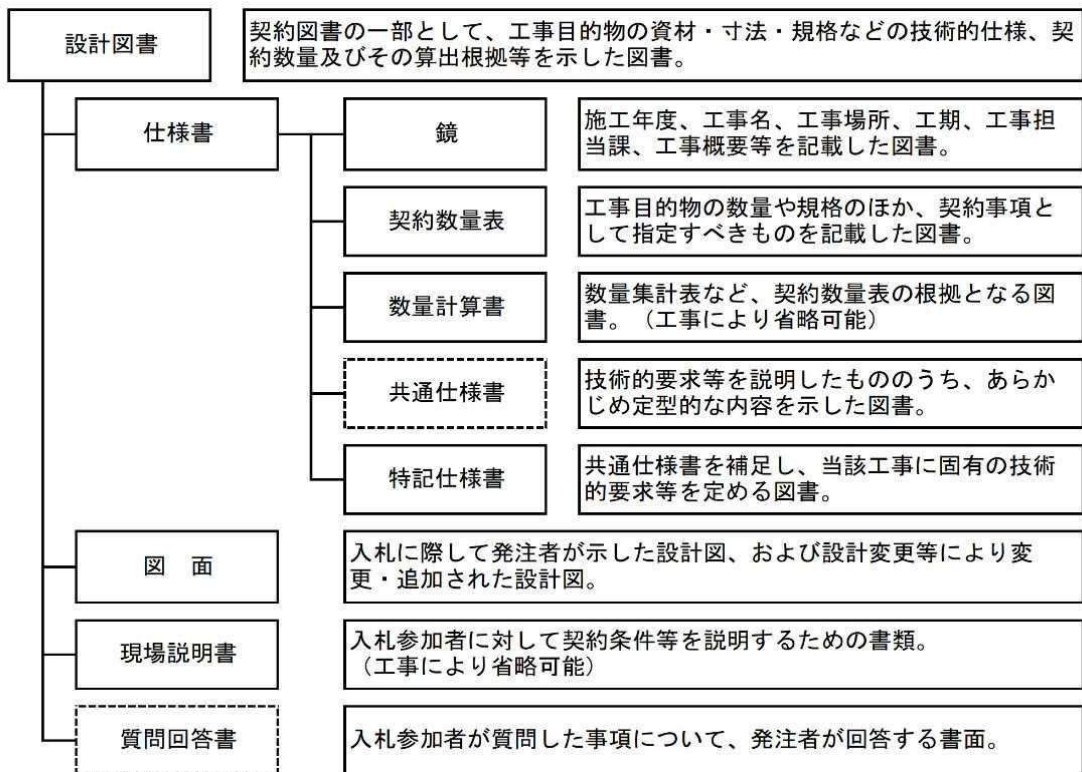
工期：令和5年3月10日限り

1 適用範囲

- 1) 本特記仕様書は、上記記載の工事に適用する。
- 2) 設計図書は、明石市工事請負契約約款第1条（総則）に基づき、図1の構成とする。従来の設計図書を、図面・仕様書等からなる「設計図書」と内訳書等からなる「見積参考図書」へ分離する。

設計図書の他に交付する「見積参考図書」とは、入札（見積）参加者の適正かつ迅速な見積に資するための資料であり、明石市工事請負契約約款第1条でいう設計図書ではなく、図2の構成とする。

従って、「見積参考図書」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は施工条件及び地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法及び安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について、受注者の責任において定めるものとする。なお、「見積参考図書」の有効期限は、本工事の入札（開札日）までとする。



※ 破線で示す共通仕様書と質問回答書は案件により添付しない場合がある。

図1 設計図書の構成

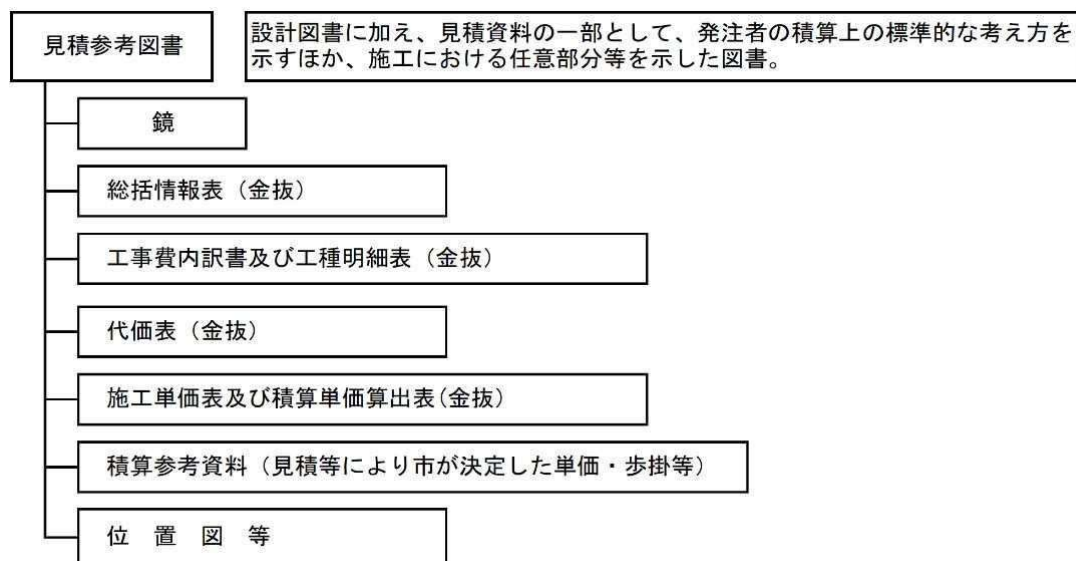


図2 見積参考図書の構成

3) 本工事の施工にあたっては、契約書及び設計図書によるほか、以下の図書及び本特記仕様書によらなければならない。

- ・ 土木工事共通仕様書・施設機械工事等共通仕様書〔令和4年3月〕
(監修：農林水産省農村振興局)
- ・ 土木工事共通仕様書〔平成29年12月：令和3年10月一部改定版〕
(兵庫県県土整備部)
- ・ 土木工事施工管理基準〔令和4年3月31日改定〕 (農林水産省農村振興局)
- ・ 土木工事施工管理基準の手引き〔令和4年3月31日改訂〕 (農林水産省農村振興局)
- ・ 土木工事施工管理基準〔平成29年12月：令和3年10月一部改定版〕
(兵庫県県土整備部)
- ・ 土木請負工事必携〔平成29年12月：令和3年10月一部改定版〕
(兵庫県県土整備部)
- ・ 土木工事等施工技術安全指針〔平成22年3月〕 (農林水産省農村振興局)
- ・ 小型構造物標準図集〔平成25年12月：平成30年9月第3回改訂版〕
(兵庫県県土整備部)

2 法令等の厳守

1) 本工事の施工に当たり、関係法令を厳守し、必要な諸手続きを行うこと。

3 書類の提出

- 1) 受注者は、明石市の定める様式による書類を提出すること。
- 2) 工事着手時までには施工計画書を作成し監督員の受諾後作業を行うこと。
- 3) 受注者は、土木工事共通仕様書に定める工種については、事前に立会願を監督員に提出し段階確認を受けなければならない。
- 4) 工事履行報告書を作成し、工程表及び工事状況写真を添付し、毎月末に監督員に提出する

こと。

- 5) 年末年始、夏期休暇等により長期間現場の作業を休止する場合は、事前に緊急時の連絡体制についての説明書を作成し、監督職員に提出すること。

4 事前調査、設計図書照査等

- 1) 工事着手に先立ち、現地踏査、測量等を十分に行い、現場状況を把握するとともに、設計図書の照査、現場条件に適した施工等について十分に検討し、その報告書を提出すること。また現地との違いがあれば速やかに監督職員に報告し、その指示を受けること。
- 2) 近接構造物の事前調査を行い、損傷箇所がある場合は写真撮影し、関係者に提出すること。
- 3) 地下埋設物、暗渠排水施設等の調査確認を行い、必要に応じて試掘調査を行うこと。試掘調査については、監督職員と協議のうえ、設計変更の対象とする。

5 施工上の留意等

- 1) 低騒音、低振動、排出ガス対策等を施した建設機械を使用すること。また、過積載や積みこぼしのないことはもちろんのこと、作業終了時における清掃も怠らないこと。過積載防止についてはその具体的内容を施工計画書に記載するものとする。
- 2) 施工にあたっては、第三者に対する安全対策はもとより、作業要領や作業従事者にかかる安全衛生対策、労働災害防止対策に十分配慮すること。また、降雨等による災害事故が発生しないよう万全の体制を図るとともに、工事現場及びその周辺状況や施設の特性を踏まえて、事故防止対策を講じるよう、施工計画を作成し、工事を実施すること。
- 3) 下請契約がある場合、施工体制台帳を作成して工事現場に備えるとともに、監督職員に提出すること。また、各下請負者の施工の分担関係を表示した施工体系図を作成し、工事関係者の見やすい場所及び公衆の見やすい場所に掲げるとともに、監督職員に提出すること。
- 4) 受注者は、現場代理人、監理技術者、主任技術者及び専門技術者並びに下請負業者の主任技術者に、工事現場内において工事名、工期、写真、所属会社および社印の入った名札を着用させるものとする。

<名札の例>

監理（主任）技術者	
写 真 2cm×3cm 程度	氏 名 ○ ○ ○ ○
	工事名 ○ ○ ○ (○工区)管布設工事
	工 期 自 平成○○年○○月○○日 至 平成○○年○○月○○日
会社名 ◇◇建設株式会社 印	

- 注) 1. 用紙の大きさは名刺サイズ以上とする。
2. 社印は所属会社の社印とする。

- 5) 施工中に設計変更が生じる場合、必ず事前に監督職員と文書にて協議すること。協議文書無き事項は設計変更の対象にならない。
- 6) 疑義が生じた場合、受注者は監督職員と十分協議のうえ、監督職員の指示に従うこと。

6 排ガス対策型機械等

1) 本工事において次に示す建設機械を使用する場合は、排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。なお、排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、「建設技術評価制度」又は「民間開発建設技術の審査証明事業」により評価された「排出ガス浄化装置」を装着した建設機械を使用することで同等とみなす。ただし、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。

上記において、「これにより難しい場合」とは、供給側に問題があり、排出ガス対策型建設機械を調達することが出来ない場合（リース業者に在庫がない事を証明する書類を提出した場合）であり、受注者の都合で調達できない場合は認めないものとする。（当初設計金額5千万円未満の場合、受注者の都合で調達できない場合を含むものとする）

なお、使用する建設機械が排出ガス対策型建設機械であることを確認できる写真を撮影し、完成書類として提出するものとする。

機 種	備 考
<ul style="list-style-type: none">・バックホウ・トラクタショベル（車輪式）・ブルドーザ・発動発電機（可搬式、溶接兼用機含む）・空気圧縮機（可搬式）・油圧ユニット <p>（以下に示す基礎工事用機械のうち、ベースマシンとは別に、独立したディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載しているもの：油圧ハンマ、バイブロハンマ、油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭圧入・引抜機、アースオーガ、オールケーシング掘削機、リバースサーキュレーションドリル、アースドリル、地下連続壁施工機全回転型オールケーシング掘削機）</p> <ul style="list-style-type: none">・ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ・ホイールクレーン	ディーゼルエンジン（エンジン出力7.5kW以上、260kW以下）を搭載した建設機械

2) 受注者は、工事の施工にあたり、使用する車両及び建設機械等の燃料として、不正軽油（地方税法第700条の22の2（製造等の承認を受ける義務等）の規定に違反する燃料をいう。）を使用してはならない。万一、不正軽油の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。

7 建設副産物等

- 1) 建設副産物対策として「兵庫県における建設リサイクル行動計画」推進のため、リサイクル法に基づく「再生資源利用促進（計画・実施）書」を作成し提出すること。
 - ・工事着手前：「再生資源利用〔促進〕計画書」
施工計画書に計画書を添付する。
 - ・工事完成后：「再生資源利用〔促進〕実施書」
書面による計画書・実施書および実施書の CD を竣工図書として提出すること。（請負金額が 100 万円未満の場合は、実施書の CD の提出は必要ない。）
- 2) 本工事により排出される建設廃棄物を現場外に搬出して処理する場合、産業廃棄物管理票（マニフェスト）を使用すること。

8 工事实績データの作成・登録

- 1) 受注者は、工事請負金額が 500 万円以上の工事について、「工事实績情報システム（コリンズ）」に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事实績情報として「工事カルテ」を作成し監督員の確認を受けたうえ、受注時は契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き 10 日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から、土曜日、日曜日、祝日等を除き 10 日以内に、完成時は工事完成后 10 日以内に、訂正時は適宜登録しなければならない。
変更登録は、工期又は技術者の変更が生じた場合に行うものとし、工事請負代金のみの変更の場合は、原則として登録を必要としない。
また、「工事实績データ」の登録後、登録機関発行の「登録内容確認書」を直ちに監督員に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が 10 日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

9 集中豪雨等に対する対策

- 1) 大雨等に関する気象情報等により、相当の降雨が事前に予想される場合には、原則として当日の工事を中止すること。
- 2) 気象警報・注意報のみならず、雨量データ等のリアルタイムの情報について、工事現場において速やかに取得できる体制を構築するとともに、当該情報を工事中止の判断に活用すること。また、集中豪雨等が発生した際の現場作業員の退避行動（情報伝達体制を含む）について、事前に十分確認するものとする。

10 工事中の安全確保（交通誘導員、安全管理、安全教育）

- 1) 交通誘導員については、以下の人数を見込んでいる。現場の状況に合わせて、配置が変更となる場合は監督員に協議のうえ、設計変更の対象とする。
 - ・交通誘導員 B（交代要員なし）4人
- 2) 標識類、防護柵等の安全施設類については、現場条件に応じて設置する他、道路管理者及び所轄警察署と打合わせを行い実施するものとする。なお、打合わせの結果又は条件変更等に伴い、道路保安施設設置基準（案）以上の保安施設類が必要な場合、監督員と協議す

るものとし、設計変更の対象とする。

- 3) 全作業員を対象とし、定期的に安全教育・研修訓練を行うものとする。尚、工事期間中月1回(半日)以上実施し監督員に報告書を提出するとともに、その実施状況については、工事報告等に記録した資料を提出すること。

また、安全教育・研修訓練に要する必要な費用(労務者の日当)は、現場管理費の中に含んでいる。

1.1 特定建設資材廃棄物以外の処分

特定建設資材廃棄物以外の処分方法は、積算参考条件として以下を設定している。

品 目	木材(角材)、コンクリート塊(無筋)
施設の名称	田口建材棟
所在地	大久保町松陰字堂屋敷 342-36
運搬距離	5.5km
受入等諸条件	当該施設の受入条件を遵守すること。
その他	監督員の指示による。

上表については、積算参考条件を明示しているものであり、受入施設を指定するのではなく、受注者は、県登録施設から搬出先施設を選定し、共通仕様書に基づき施工計画書を含め、監督員に提出しなければならない。なお、受注者が選定した施設が、積算参考条件と異なる場合においても設計変更は行わない。

ただし、上表の施設が工事発注後に県登録施設からの登録抹消等により受け入れが困難となった場合は、設計変更を行う。

この他、工事発注後に明らかになった事情により、予定した積算参考条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。

1.2 その他

- 1) 本工事は、他工事との現場代理人の兼務を認める。
- 2) 受注者は、工事完成後、完成図書を速やかに作成し、本市監督員の承諾を得た後、A4 サイズに製本して提出すること。また、電子データもあわせて提出するものとする。なお、その際、図面データは JW-CAD で読み込み可能な形式とすること。
- 3) 受注者は、隣接する道路が市道であるため、関係各署における届出書を期限までに必ず提出すること。
- 4) 受注者は、関係機関における連絡を確実に実施すること。
 - ・市の監督員と協議し、特に地元自治会において工事の PR を徹底すること。
 - ・地元及び周辺住民への事前周知や工程調整等について、主体的に取り組むこと。
 - ・工事中の看板・工事予告看板の設置を徹底すること。
- 5) 黒星池の堤防は、遊歩道として散歩やジョギング等の利用者が多い。受注者は、遊歩道出入口に看板を設置して、工事に伴う通行止め区間や迂回路を事前に周知すること。また、

工事区間を終日通行止めとする場合は、堤防利用者が誤って進入しないようバリケードを設置するなど安全対策を行うこと。安全施設類においては、周辺住民の生活環境への配慮に努めること。

- 6) 夜間開放など工事時間外に通行止めを解除する場合は、黒星池の堤防と隣接道路には3 m程度の落差があり、堤防利用者が転落する等の恐れがある。通行止めを解除する場合は、受注者が危険に対する周知の徹底やカラーコーン、カラーバー、チューブライト等の設置など安全対策を行うこと。
- 7) 受注者は、本工事の施工上、知り得た情報を他人に漏らさないこと、利用しないこと。
- 8) 受注者は、現地状況、地元や関係機関との協議等により各工種の図面や数量が変更する可能性があることを認識し、変更が生じた場合は図面、数量計算を監督員に提出し、監督員と協議のうえ速やかに対応すること。施工前に転落防止柵の割付を行い、監督員の了承を得ること。
- 9) 最終の設計変更に係わる資料について、受注者は工期の1ヶ月前までに十分精査したうえで監督員に提出すること。
- 10) 設計変更に係わる測量、図面の修正及び新規追加並びに数量計算については、受注者の負担により行うものとする。

令和4年度 土地改良施設維持管理適正化事業

黒星池転落防止柵更新工事（その2）

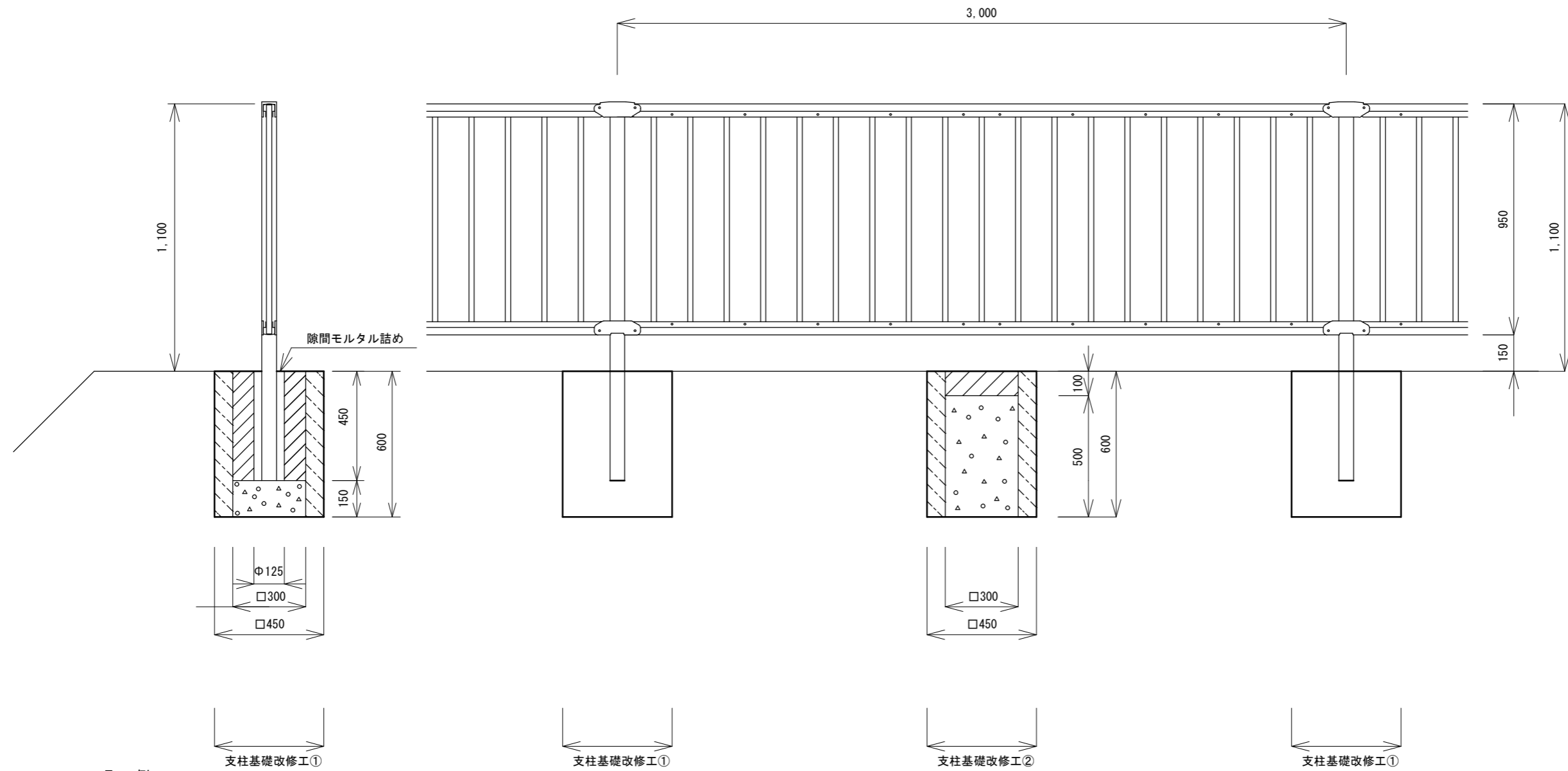
図 面

平面図






事業名	土地改良施設維持管理適正化事業		
工事名	黒星池転落防止柵更新工事（その2）		
縮尺	—	図番	1/6
明石市産業振興室農水産課			

転落防止柵設置標準図

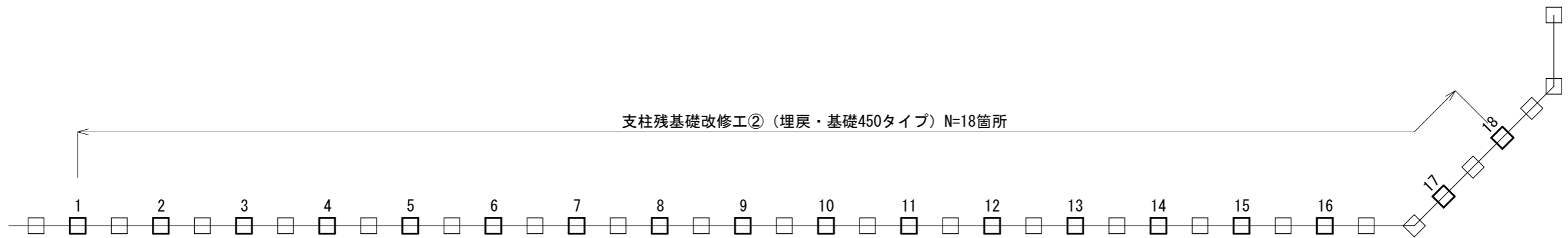
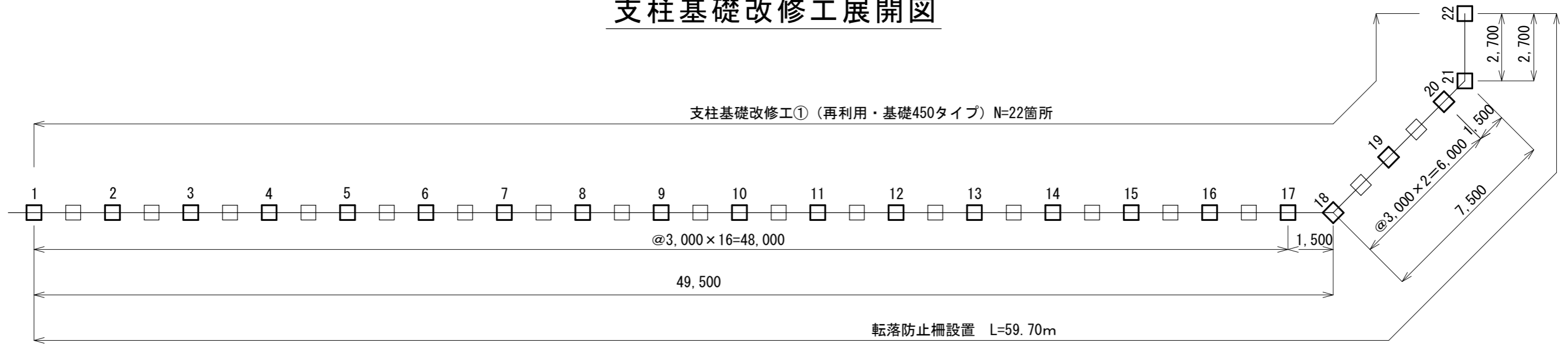


凡例

-  既設支柱基礎ブロック（撤去対象外）
-  コンクリート（18-12-20BB）
-  埋戻（洗砂）

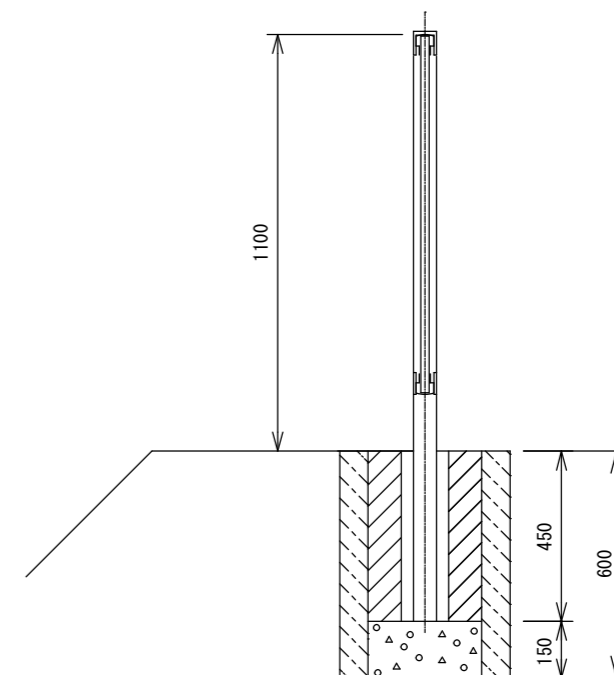
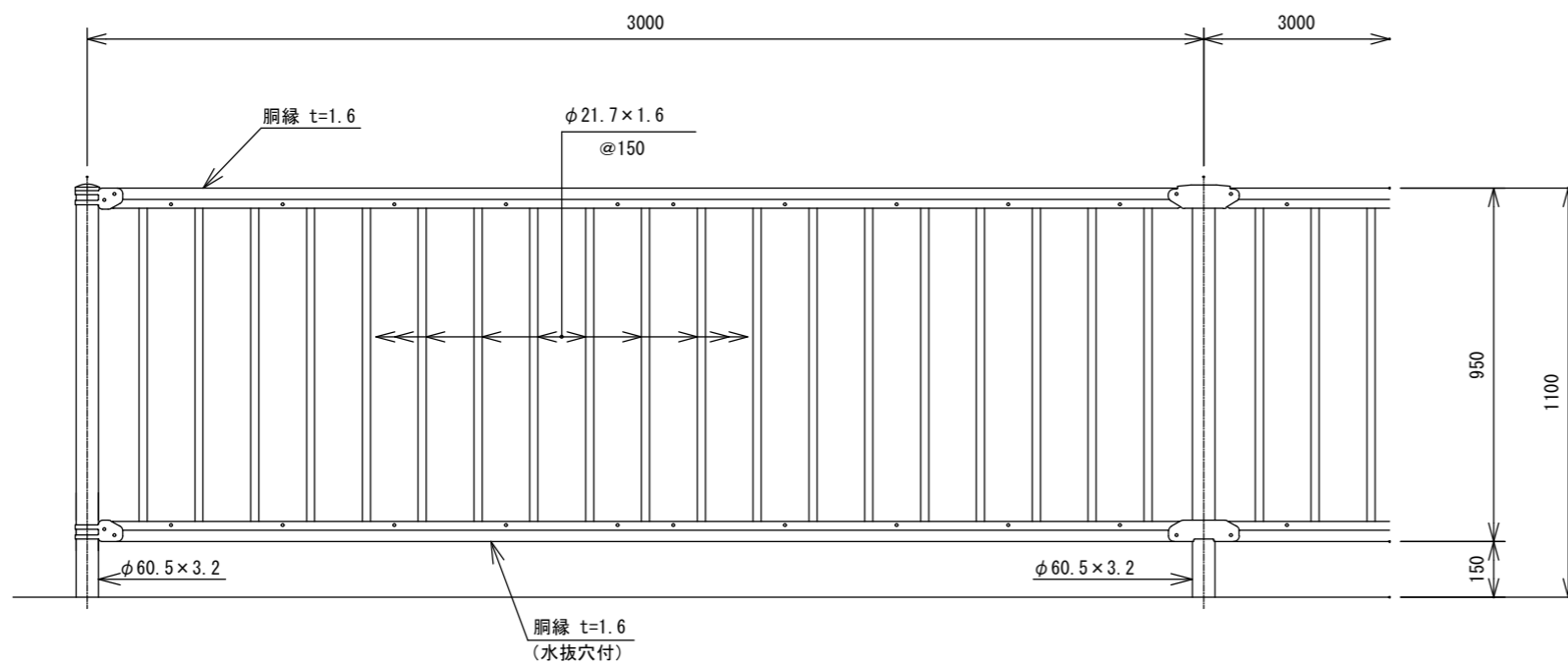
事業名	土地改良施設維持管理適正化事業		
工事名	黒星池転落防止柵更新工事（その2）		
縮尺	S=1/20	図番	2 / 6
明石市産業振興室農水産課			

支柱基礎改修工展開図

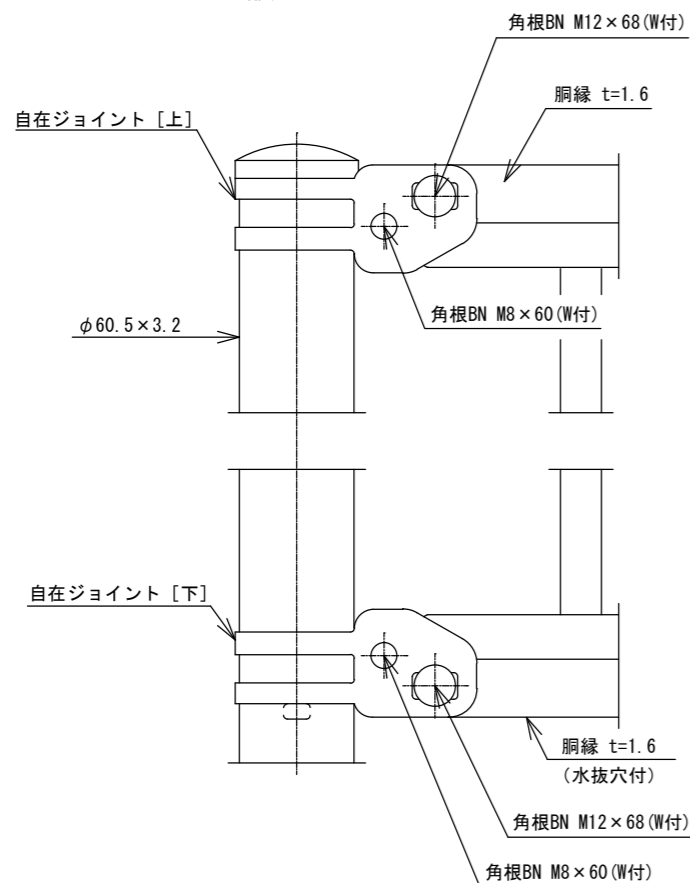


事業名	土地改良施設維持管理適正化事業		
工事名	黒星池転落防止柵更新工事（その2）		
縮尺	—	図番	3 / 6
明石市産業振興室農水産課			

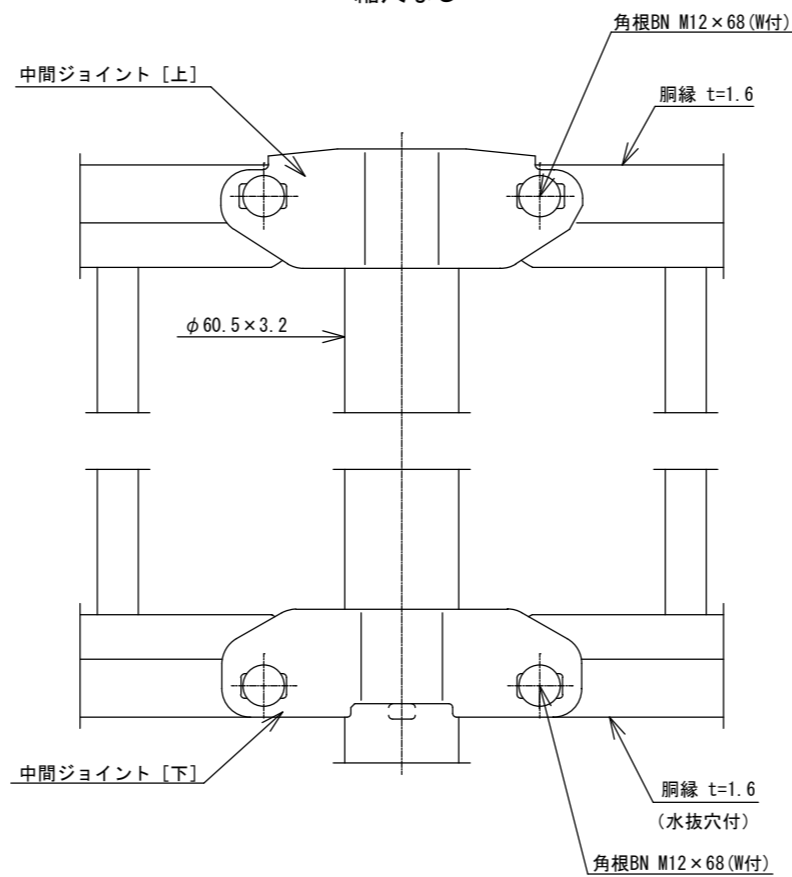
転落防止柵構造図（参考）



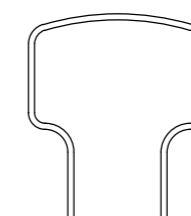
端末部取付図
縮尺なし



中間部取付図
縮尺なし



胴縁断面図



凡例

- 既設支柱基礎ブロック（撤去対象外）
- コンクリート（18-12-20BB）
- 埋戻し（洗砂）

設計条件

設計荷重・・・防護柵の設置基準・同解説のP種に基づく。

備考

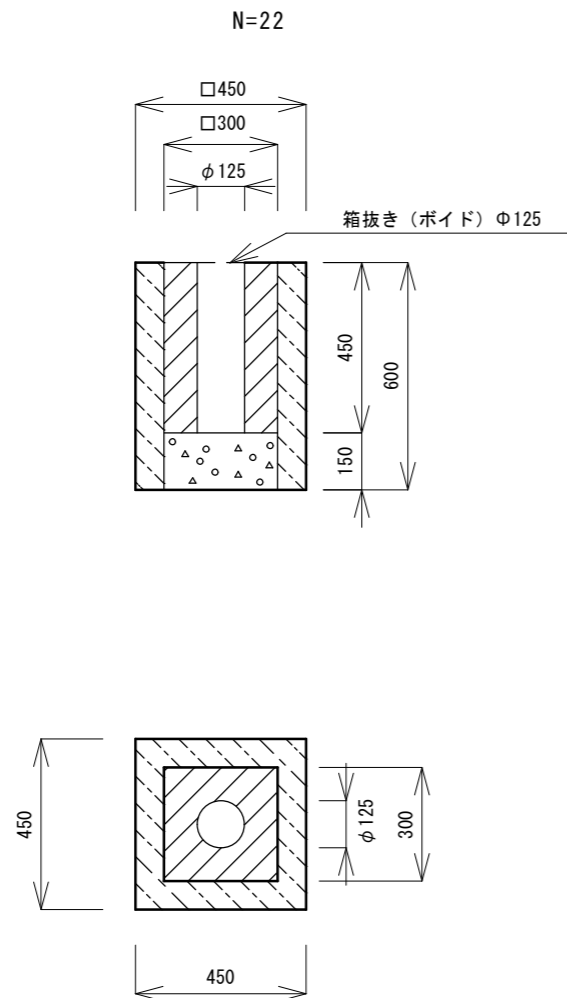
1. 外装は亜鉛・アルミ・マグネシウム合金めっきの上
高耐候性樹脂粉体塗装とする。但し、ボルト・ナットは溶融亜鉛めっきのみとする。

※朝日スチール工業(株) PZ-K1100同等品とする。
※色は標準色の景観ブラウンとする。

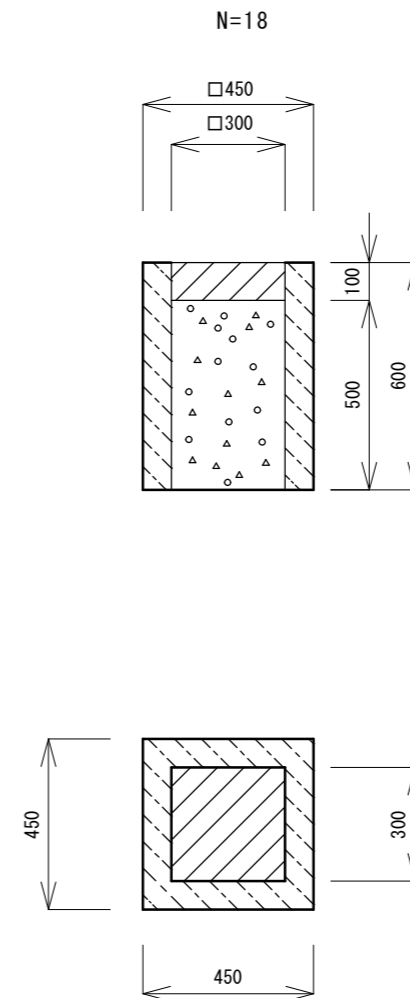
事業名	土地改良施設維持管理適正化事業		
工事名	黒星池転落防止柵更新工事（その2）		
縮尺	S=1/20	図番	4 / 6
明石市産業振興室農水産課			

支柱基礎改修構造図




支柱基礎改修工①（再利用・基礎450タイプ）



支柱残基礎改修工②（埋戻・基礎450タイプ）

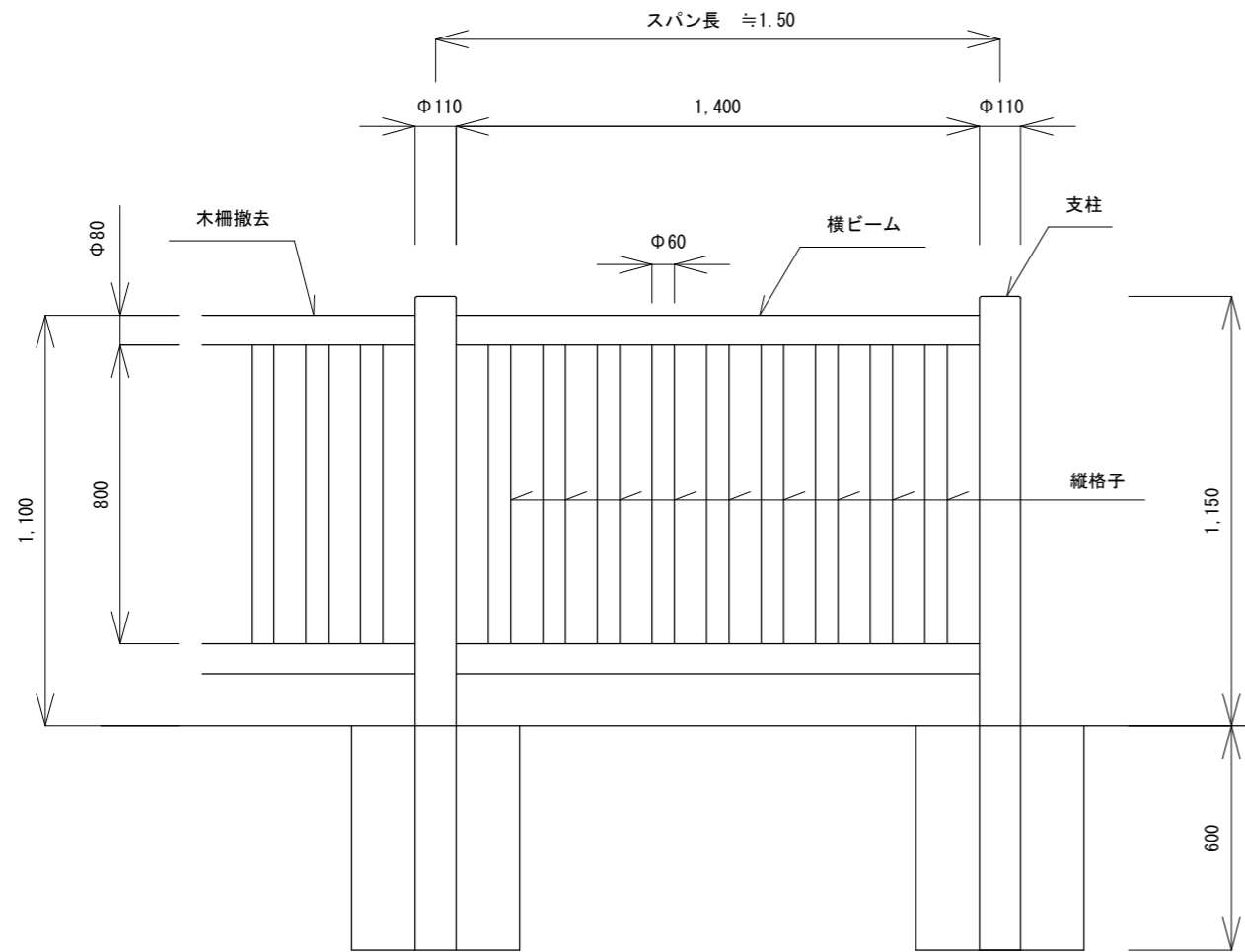


凡例

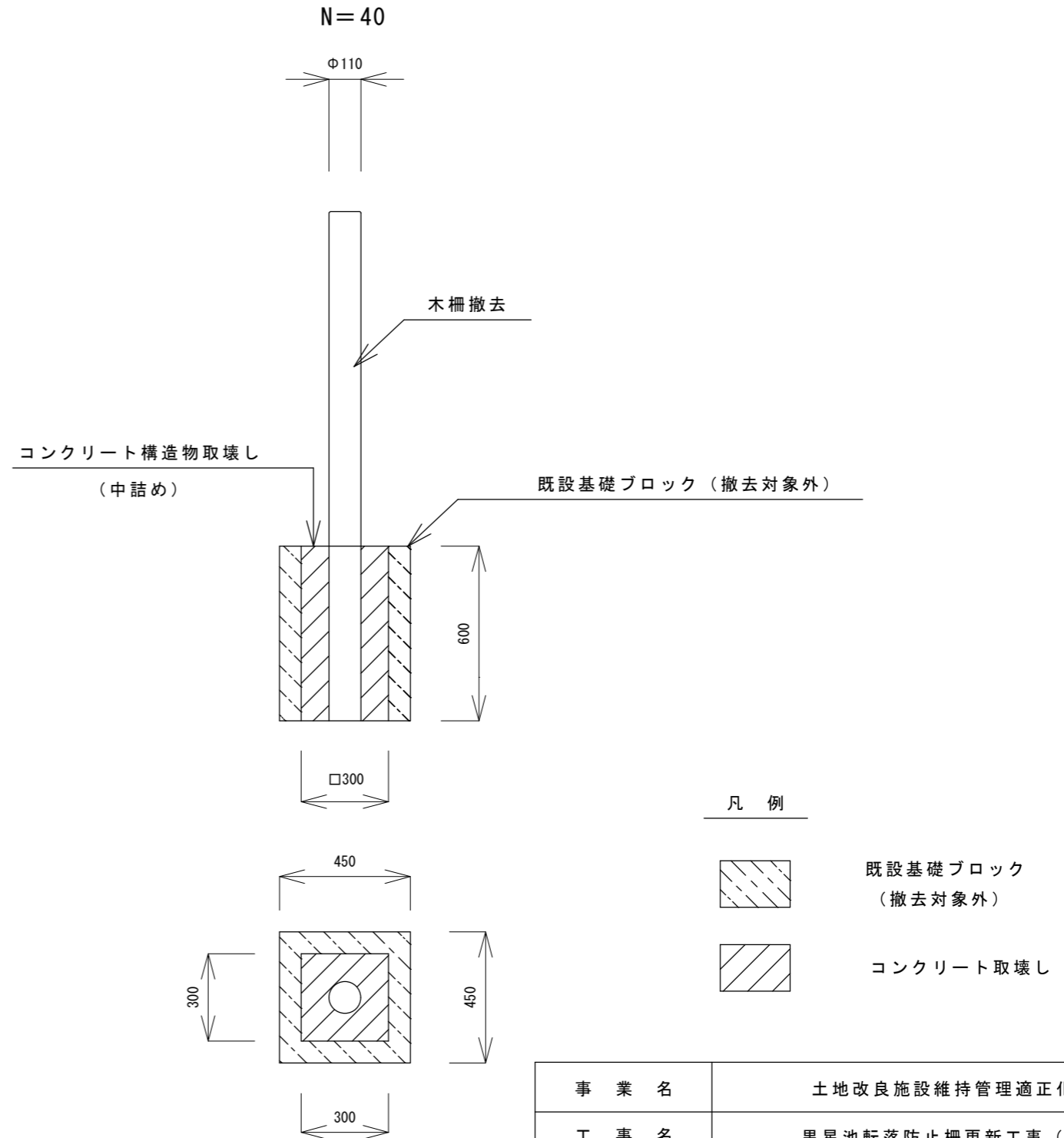
-  既設支柱基礎ブロック（撤去対象外）
-  コンクリート（18-12-20BB）
-  埋戻（洗砂）

事業名	土地改良施設維持管理適正化事業		
工事名	黒星池転落防止柵更新工事（その2）		
縮尺	S=1/20	図番	5 / 6
明石市産業振興室農水産課			

既設転落防止柵撤去工



支柱撤去構造図 (450タイプ)



事業名	土地改良施設維持管理適正化事業		
工事名	黒星池転落防止柵更新工事 (その2)		
縮尺	S = 1/20	図番	6 / 6
明石市産業振興室農水産課			

見積参考図書

年 度	令和4年度 実施設計書(金抜き設計書)				
設計月日	令和4年11月 設計				
起 工 理 由					
位 置	明石市鳥羽地内			施 行	直 営 請負
事 業 名	土地改良施設維持管理適正化事業			期 間	契約の日より 日 以内 令和5年3月10日 限り
工 事 名	黒星池転落防止柵更新工事(その2)				
工 事 の 概 要	木柵撤去 L=60m 転落防止柵設置 L=60m				
工 事 費	当初設計額	円	当初請負額	円	摘 要 前金払 無し 中間前金払 無し 部分払 1回以内
	変更設計額		変更請負額		
	増・減		増・減		



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和4年度

土地改良施設維持管理適正化事業

黒星池転落防止柵更新工事（その2）

金抜き設計書

（当初）

明石市

事業名	土地改良施設維持管理適正化事業
工事名	黒星池転落防止柵更新工事 (その2)

項目名	内容
事業主体名	明石市
事業名	土地改良施設維持管理適正化事業
地区名	
工事名	黒星池転落防止柵更新工事 (その2)
施工場所	
工事番号	
工事区分	単年度
積算区分	当初積算
地域区分	本土
地区区分	加古川
工期	令和5年3月10日限り
積算体系年月	令和4年10月
単価期適用年月	令和4年11月-A
歩掛期適用年番号	令和4年03号-A
電力会社名	関西電力

事業名	土地改良施設維持管理適正化事業
工事名	黒星池転落防止柵更新工事 (その2)

番号	項目名	規格	数量	単位	金額	備考
	請負工事費					
	・工事価格					
	・消費税相当額 (10%)					
	工事内容					

事業名	土地改良施設維持管理適正化事業
工事名	黒星池転落防止柵更新工事 (その2)

項目名	内容
工事名	
工事区分	単年度
積算区分	当初積算
積算体系区分	【一般土木工事】
工種区分	その他土木工事(2)
工種体系区分	その他土木工事(2)
工事工種体系年番号	令和4年1号 [1号]
契約保証費	計上する
前払金支出割合	0%~5%以下
電力区分	低圧・業者持・1年未満
施工地域区分(H31迄)	補正なし
週休2日補正	補正なし
熱中症対策補正(現場管理費)	0.00%
施工地域区分	補正なし
現場環境改善費の計上	する

事業名	土地改良施設維持管理適正化事業
工事名	黒星池転落防止柵更新工事 (その2)

項目名	数量	単位	金額	備考
1 工事価格				
2 ・工事原価				
3 純工事費				
4 ・ ・直接工事費				
5 ・ ・ ・直接工事費 (仮設工を除く)	1.000	式		
6 ・ ・ ・直接工事費 (仮設工)	1.000	式		
7 ・ ・間接工事費				
8 ・ ・ ・共通仮設費				
9 ・ ・ ・ ・運搬費～営繕費等				
10 ・ ・ ・ ・現場環境改善費				
11 ・ ・ ・ ・ ・現場環境改善費 (率計上)				
12 ・ ・ ・現場管理費				

事業名	土地改良施設維持管理適正化事業
工事名	黒星池転落防止柵更新工事 (その2)

項目名	数量	単位	金額	備考
13 ・一般管理費等				
14 処分費等 (直接工事費の内数)				
15 法定福利費概算額(工事価格の内数)				

事業名	土地改良施設維持管理適正化事業
工事名	黒星池転落防止柵更新工事（その2）

工 種 名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費（仮設工を除く）内訳				
直接工事費（仮設工を除く）	1.000	式		
B1 土工	1.000	式		
B2・作業土工	1.000	式		
B1 転落防止柵撤去工	1.000	式		
B2・既設転落防止柵撤去工	1.000	式		
B1 転落防止柵設置工	1.000	式		
B2・転落防止柵設置工	1.000	式		

事業名	土地改良施設維持管理適正化事業
工事名	黒星池転落防止柵更新工事（その2）

工 種 名 称	数 量	単 位	金 額	備 考
直接工事費（仮設工）内訳				
直接工事費（仮設工）	1.000	式		
B1 仮設工	1.000	式		
B2・交通管理工	1.000	式		

事業名	土地改良施設維持管理適正化事業
工事名	黒星池転落防止柵更新工事 (その2)

名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
直接工事費 (仮設工を除く)					
B1 土工	1.000	式			
B2・作業土工	1.000	式			
000001 埋戻	1.000	式			歩A・単A B単 1号
合 計					
B1 転落防止柵撤去工	1.000	式			
B2・既設転落防止柵撤去工	1.000	式			
000002 撤去工	1.000	式			歩A・単A B単 2号
000003 運搬・処分	1.000	式			歩A・単A B単 3号
合 計					
B1 転落防止柵設置工	1.000	式			
B2・転落防止柵設置工	1.000	式			
000004 支柱基礎改修工	1.000	式			歩A・単A B単 4号
000005 転落防止柵設置工	1.000	式			歩A・単A B単 5号
合 計					

事業名	土地改良施設維持管理適正化事業
工事名	黒星池転落防止柵更新工事 (その2)

名 称 (規 格)	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
直接工事費 (仮設工)					
B1 仮設工	1.000	式			
B2 ・ 交通管理工	1.000	式			
000006 交通誘導員	1.000	式			歩A ・ 単A B単 6号
合 計					

事業名	土地改良施設維持管理適正化事業				
工事名	黒星池転落防止柵更新工事 (その2)				

コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
000001	*** B単- 1号 *** 埋戻					
			式			歩A・単A
000002	*** B単- 2号 *** 撤去工					
			式			歩A・単A
000003	*** B単- 3号 *** 運搬・処分					
			式			歩A・単A
000004	*** B単- 4号 *** 支柱基礎改修工					
			式			歩A・単A
000005	*** B単- 5号 *** 転落防止柵設置工					
			式			歩A・単A
000006	*** B単- 6号 *** 交通誘導員					
			式			歩A・単A

事業名	土地改良施設維持管理適正化事業
工事名	黒星池転落防止柵更新工事 (その2)

コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
	*** B単- 1号 ***					
000001	埋戻		式		1.000	歩A 式 当たり算出
S01041	人力土工(盛土・埋戻) 砂・砂質土,埋戻,まき出し,人力タコ	1.000	m3			S単 1号
J03006	洗砂 (細骨材用) 荒目	1.000	m3			
	合計					
	単価					
	*** B単- 2号 ***					
000002	撤去工		式		1.000	歩A 式 当たり算出
T00001	木柵撤去	60.000	m			T単 1号
S02721	【構造物取壊し】 無筋,制約無,人力,昼間施工	1.900	m3			S単 6号
	合計					
	単価					
	*** B単- 3号 ***					
000003	運搬・処分		式		1.000	歩A 式 当たり算出
SA0221	廃材運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし,機械積込,有り,5.7km以下	3.300	m3			S単 8号
S02123	木材処分	3.300	m3			S単 4号

事業名	土地改良施設維持管理適正化事業				
工事名	黒星池転落防止柵更新工事 (その2)				

コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
SA0221	SP 殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし, 機械積込, 有り, 5.7km以下	1.900	m3			S単 9号
S02123	無筋コンクリート殻処分	1.900	m3			S単 5号
	合計					
	単価					
	*** B単- 4号 ***					
000004	支柱基礎改修工		式		1.000 式	歩A 当たり算出
T00002	箱抜き D125	9.900	m			T単 2号
SA0311	SP コンクリート 無筋・鉄筋構造物, 人力打設, 計上する, -, 一般養生, -, 有り, -, コンクリート各種	1.000	m3			S単 10号
	合計					
	単価					
	*** B単- 5号 ***					
000005	転落防止柵設置工		式		1.000 式	歩A 当たり算出
S08713	転落防止柵設置 コンクリート建込, 3.0m, ビーム式・パネル式, 100m未満, -, 無し	60.000	m			S単 7号
	合計					
	単価					

事業名	土地改良施設維持管理適正化事業				
工事名	黒星池転落防止柵更新工事 (その2)				

コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
	*** B単- 6号 ***					
000006	交通誘導員		式		1.000	歩A 式あたり算出
S02115	交通誘導警備員B		人			S単 3号
	合 計					
	単 価					

事業名	土地改良施設維持管理適正化事業				
工事名	黒星池転落防止柵更新工事 (その2)				

コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
S01041	*** S単-1号 *** 人力土工(盛土・埋戻)					
	人力土工(盛土・埋戻) 砂・砂質土,埋戻,まき出し,人力タコ		m3			歩A・単A
S02115	*** S単-2号 *** 普通作業員					
	普通作業員		人			歩A・単A
S02115	*** S単-3号 *** 交通誘導警備員B					
	交通誘導警備員B		人			歩A・単A
S02123	*** S単-4号 *** 木材処分					
	木材処分		m3			歩A・単A
S02123	*** S単-5号 *** 無筋コンクリート殻処分					
	無筋コンクリート殻処分		m3			歩A・単A
S02721	*** S単-6号 *** 【構造物取壊し】					
	【構造物取壊し】 無筋,制約無,人力,昼間施工		m3			歩A・単A
S08713	*** S単-7号 *** 転落防止柵設置					
	【横断・転落防止柵設置】 コンクリート建込,3.0m,ビーム式・パネル式,100m未満,一,無し		m			歩A・単A
SA0221	*** S単-8号 *** 廢材運搬					
	SP 殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし,機械積込,有り,5.7km以下		m3			歩A・単A
SA0221	*** S単-9号 *** SP 殻運搬					
	SP 殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし,機械積込,有り,5.7km以下		m3			歩A・単A

事業名	土地改良施設維持管理適正化事業
工事名	黒星池転落防止柵更新工事 (その2)

コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
SA0311	*** S単- 10号 *** SP コンクリート					
	SP コンクリート 無筋・鉄筋構造物, 人力打設, 計上する, -, 一般養生, -, 有り, -, コンクリート各種		m3			歩A・単A
T00001	*** T単- 1号 *** 木柵撤去					
			m			歩A・単A
T00002	*** T単- 2号 *** 箱抜き					
	D125		m			歩A・単A

事業名	土地改良施設維持管理適正化事業
工事名	黒星池転落防止柵更新工事 (その2)

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単-1号 ***					
S01041	人力土工(盛土・埋戻)		m3		10.000 m3	歩A 当たり算出
	人力土工(盛土・埋戻) 砂・砂質土,埋戻,まき出し,人力タコ			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0 週休:補正なし	
	1)土質区分 2)作業区分	砂・砂質土 埋戻		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	3)施工区分 4)締固め区分	まき出し 人力タコ				
R01003	普通作業員		人			
	合計					算出数量 10.000 m3
	単価		m3			
	*** S単-2号 ***					
S02115	普通作業員		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	普通作業員			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0 週休:補正なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R01003		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
R01003	普通作業員		人			
	合計					算出数量 1.000 人
	単価					
	*** S単-3号 ***					

事業名	土地改良施設維持管理適正化事業
工事名	黒星池転落防止柵更新工事 (その2)

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
S02115	交通誘導警備員B		人		1.000 人	歩A 当たり算出
	交通誘導警備員B			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0 週休:補正なし	
	1)労務コード 2)労務単価算定区分	R01032		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
R01032	交通誘導警備員B		人			
	合計					算出数量 1.000 人
	単価					
	*** S単- 4号 ***					
S02123	木材処分		m3		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	木材処分			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0 週休:補正なし	
	1)地域資材単価コード 2)資材規格 3)単価の入力			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
P96001	木材処分	1.000	m3			
	合計					算出数量 1.000 各単位
	単価					
	*** S単- 5号 ***					
S02123	無筋コンクリート殻処分		m3		1.000 各単位	歩A 当たり算出

事業名	土地改良施設維持管理適正化事業
工事名	黒星池転落防止柵更新工事 (その2)

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	無筋コンクリート殻処分			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0 週休:補正なし	
	1)地域資材単価コード 2)資材規格 3)単価の入力			時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
P96002	無筋コンクリート殻処分	1.000	m3			
	合計					算出数量 1.000 各単位
	単価					
	*** S単- 6号 ***					
S02721	【構造物取壊し】		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	【構造物取壊し】 無筋,制約無,人力,昼間施工			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0 週休:補正なし	
	1)作業区分 2)制約状況	無筋 制約無		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	3)施工区分 I 4)施工区分 II	人力 昼間施工				
A73502	構造物とりこわし工無筋構造物 制約無 人力 機労 昼間	1.000	m3			
	合計					算出数量 1.000 m3
	単価		m3			
	*** S単- 7号 ***					
S08713	転落防止柵設置		m		1.000 m	歩A 当たり算出

事業名	土地改良施設維持管理適正化事業
工事名	黒星池転落防止柵更新工事 (その2)

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	【横断・転落防止柵設置】 コンクリート建込, 3.0m, ビーム式・パネル式, 100m未満, ー, 無し			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0 週休:補正なし	
	1)横断・転落防止柵1m当たり単価 2)作業区分	コンクリート建込		時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	3)支柱間隔 4)規格・仕様	3.0m ビーム式・パネル式				
	5)施工規模 6)時間的制約	100m未満 ー				
	7)夜間作業	無し				
P22501	横断・転落防止柵 ビーム式・パネル式	1.000	m			
A04041	横断・転落防止柵設置(コンクリート建込) ビーム式・パネル式 支柱間隔3m	1.350	m			
	合計					算出数量 1.000 m
	単価		m			
	*** S単- 8号 ***					
SA0221	廃材運搬 SP 殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし, 機械積込, 有り, 5.7km以下		m3	基本給時間:8.0 深夜時間:0.0	超勤時間:0.0 週休:補正なし	1.000 m3 歩A 当たり算出
				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	制約作業時間:0.0	
	1)殻発生作業 2)積込工法区分	コンクリート(無筋)構造物とりこわし 機械積込				
	3)DID区間の有無 4)運搬距離	有り 5.7km以下				
	単価		m3			

事業名	土地改良施設維持管理適正化事業				
工事名	黒星池転落防止柵更新工事 (その2)				

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単- 9号 ***					
SA0221	SP 殻運搬		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 殻運搬 コンクリート(無筋)構造物とりこわし, 機械積込, 有り, 5.7km以下			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	超勤時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1) 殻発生作業 2) 積込工法区分 3) DID区間の有無 4) 運搬距離	コンクリート(無筋)構造物とりこわし 機械積込 有り 5.7km以下				
	単 価		m3			
	*** S単- 10号 ***					
SA0311	SP コンクリート		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP コンクリート 無筋・鉄筋構造物, 人力打設, 計上する, -, 一般養生, -, 有り, -, コンクリート 各種			基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	超勤時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1) 構造物種別 2) 打設工法 3) コンクリートの計上 4) 設計日打設量 5) 養生工の種類 6) 圧送管延長距離区分 7) 現場内小運搬の有無 8) 打設高さ、水平打設距離 10) 規格区分	無筋・鉄筋構造物 人力打設 計上する - 一般養生 - 有り - コンクリート各種				
J02056	生コンクリート(高炉B) 18N/mm ² 12cm 25(20)mm(W/C=60%以下)		m3			材変

事業名	土地改良施設維持管理適正化事業				
工事名	黒星池転落防止柵更新工事 (その2)				

コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
	*** T単-1号 ***					
T00001	木柵撤去		m		100.000 m	歩A 当たり算出
S02115	普通作業員		人			S単 2号
	合計					算出数量 100.000 m
	単価		m			
	*** T単-2号 ***					
T00002	箱抜き		m		10.000 m	歩A 当たり算出
	D125					
S02115	普通作業員		人			S単 2号
P96003	円形型枠(紙製) D125×T3.2mm	10.498	m			
	合計					算出数量 10.000 m
	単価		m			

令和4年度 土地改良施設維持管理適正化事業

黒星池転落防止柵更新工事（その2）

積算参考資料

積算参考資料

本工事の積算で設定した木柵撤去工（100m 当り、撤去手間のみ）の歩掛見積は、表 1 のとおりです。

【表 1：木柵撤去工 100m 当り（撤去手間のみ）単価表】

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
普通作業員	木材(支柱・横ビーム・縦格子)・人力	人	18.1	木柵撤去工 100m 当り 撤去手間のみ

(注) 本積算参考資料は、あくまで発注者が予定価格を算出する際の積算条件を参考までに示した資料であり、何らの契約上の拘束力を生じるものではない。

黒星池転落防止柵更新工事（その2） 位置図

